

CAFÉ LIVE 2012

つむぎね + 大川直志「わを」 2013年3月30日・31日

松岡大 + LAND「快転」 4月5日・6日・7日

Miya Music + Team Can-On「Chakra Suite」 4月12日

tarinainanika + 吉本恭子「Coffee & I」 4月12日

AAPA + koen企画「見えなくなるだけ消えない」 4月13日・14日

Cafelive は、ドリンクを片手に気軽に楽しめるライブ・パフォーマンスシリーズとして2004年より開催してきました。今年度はアーティストとマネージメントのジョイントチームを公募しました。参加団体には、公演会場、制作場所、制作費補助、DVD制作などをバンカートが支援します。2012年9月に2チームがハンマーヘッドスタジオ新・港区で既に公演を行い、このたび2013年3-4月に5チームが、NYK kawamata ホールで連続公演を行います。どうぞこの機会をお見逃し無く!

※公演終了 2012年9月14日(金) ハンマーヘッドスタジオ新・港区

永井由利子/愛智伸江 + 愛智伸江「みち、道、未知、満ち」、木皮成+齊木香苗「I'M NOTHING FOR YOU」

主催:BankART1929

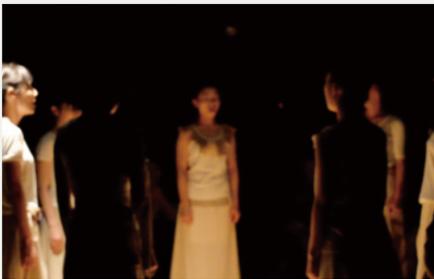
3月30日(土) 15時 / 19時
3月31日(日) 14時
つむぎね「わを」 制作：大川直志

つむぎね約1年半ぶりとなる単独公演。今回は女性グループという枠を超え、男性のメンバーも迎え、さらに20人近い大人数での表現に挑戦する予定です。女性だけの響きとは変わって、男女による厚みや広がりのある新たなつむぎねサウンドをNYKホールという響き豊かで独特の空気感を持つ、魅力的な空間と呼応し合いながら紡ぎ出します。

出演 つむぎね
総合演出 宮内康乃
制作 大川直志

つむぎね
二〇〇八年より作曲家 宮内康乃を中心
に結成した音楽パフォーマンス
グループ。楽譜を用いず、おもに声やビ
ーニカを使い、個々がそれぞれ音の粒
子となり、その粒子が単純なルールを
もとに音を発し、それが複数重なりのあ
って、変化 融合することで空間上の響
きを紡ぎ出していく、非常にリミテ
ィブな表現を追求している。トーキー
サウンドサイト主催「Experimental
sound&art festival 2008」にて最優秀
賞受賞。
official website www.tsunugin
e.com/

大川直志(おかわただし)
和歌山県和歌山市生まれ。二〇一〇年
小金井アートフルアクションイン
ターンを経て、二〇一一年より小金井
アートフル・アクション・事務局。これ
まで、ほうほう堂・小金井のあちこち
の恐ろプロジェクトマネージャーや活
動拠点、小金井アートスポットシャ
ートメントの立ち上げに携わり、企画・
運営などを担当。



4月5日(金) 21時 レイトショー!
4月6日(土) 14時 / 19時半
4月7日(日) 14時
松岡大「快転」 制作：LAND

山海塾の舞踏手として活躍しながら、ソロにおいても旺盛にクリ
イティブな活動を展開する松岡大による、映像作家 齋藤正
和との共同作品。都市と回転をイメージ。それらが、身体と交わ
りながら喚起する潜在的な「快」へのアプローチは、空間をどの
ように変容させるのか? 国内外の瑞々しい現代アートを紹介
す Gallery Side 2にて初上演された本作品は、BankARTに
て更なる進化を遂げます。是非ともご覧下さい。

演出 構成 松岡大、齋藤正和
出演 松岡大 映像 齋藤正和
音楽 鈴木悦久
制作 LAND、城戸久実(Gallery Side2)

松岡大
ダンサー、LANDクリエイティブディレ
クター。上智大学比較文化学卒業。演技
デザイン研究所卒業。二〇〇五年より舞
踏カンパニー山海塾に舞踏手として参加
二〇一〇年に鎌倉由比浜にてソロ公演
「SEA DRUM」を行い、二〇一一年より、
街をぶらり歩きながら出会うパフォー
ミングアート&ミュージックのフェステイ
バル LAND FESTIVAL。
http://daimatsusoka.com/

LAND
プロジェクトマネージャー 増沢隆樹(ク
リエイティブディレクター 松岡大を中心
にパフォーマンスアートの企画/作品
をプロデュースする制作チーム) 街を歩
きながら体験するライブフェスティバル
「LANDS」を主催している。増沢隆樹
は、株式会社イデーにて統括マネジャー
を務めた後、アンティークショップ&
ギャラリー「Horal's」オーナーとして、独
立。二〇一一年、LANDに参画。二〇一
二年にはショップ、アトリエ、ギャラリー
が融合したスペース890「ハチキユウ
ゼロ」を立ち上げ、メディア各方面にて取
りあがり、http://land-jp.com/

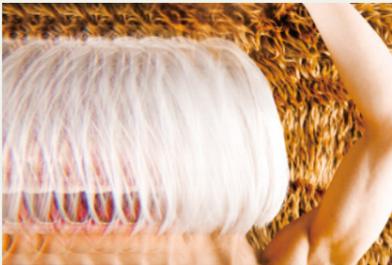


写真:梅川良満

4月13日(土) 14時半 / 18時半
4月14日(日) 14時半 / 18時半
AAPA「見えなくなるだけで消えない」
制作：koen企画

遠く離れた森の入口。水辺のふちで、釣りをする男がひとり。
静かに視線をそそぐ水面の先に、道に迷った男女がふたり。
それぞれが一緒に、遠くでゆっくりと跳ねる、光る魚を見る。
泳ぐ魚が陸にあがるとき、不思議な釣りの話が始まる。会
場空間の造形に、衣裳&美術が重なりながら行き来する、ダ
ンス、ジャグリング、生演奏。6年越しの「劇的さ」かもしれ
ないAAPA(アアパ)の新作公演。

出演 高田真琴、永井美里、宮野玲、上本竜平
作 演出 上本竜平 振付 永井美里
音楽 西川裕一、若鍋久美子
衣裳 美術 稲村朋子 制作 koen企画

AAPA(アアパ/Away at Performing Arts)
二〇〇四年に日常風景と地続きの舞台空間
を企画するプロジェクト(代表 上本竜平)と
して、横浜を拠点に活動開始。舞台公演の
「日常生活と離れた場所に触れること」の意
味を重視し、夜の海水浴場、公園の使われな
い休憩所、歴史建造物の屋上、淡路島の風力
発電所など、劇場外の公演を国内各地で
企画。二〇〇七年からは演劇タンクス建築
DJ/美術PONなど多分野による舞台作品
の創作 上演を始め、大野一雄フェステイ
バル2009「黄金町パサール2012」等に参
加。公募選出された「踊りに行くぜIII」で
は劇場作品を制作、二〇一一年に4都市を
巡演した。http://aapa.jp/

koen 企画
いまの日本で大道芸/サーカス等のパ
フォーマンスに携わる人々とともに、その
領域と可能性の幅を広げ、さまざまな層を
積み重ねていくための個人プロジェクト
(代表 奥村優子)。編集プロジェクトや公
共劇場等で働きながら、トークイベントや
ワークショップの企画運営、勉強会の開催
そして舞台作品の上演やイベント等への制
作協力を実施してきた。二〇〇六年より不
定期にAAPAに制作協力として参加。



4月12日(金) 19時半

Double Bill! Miya Music x tarinainanika
Miya Music「Chakra Suite」

制作：Team Can-On

Miya Music はソニックのインフォメーション音の振動が全身の
細胞に働きかける感覚を提案する。Cafe Live では万華鏡作
家・チャラグとの共同作品「Chakra Suite」を公開。無意識に働
きかける色のパワーを受け取る映像と、チャクラの七色をイ
メージしたMiyaの楽曲による作品。色と音で埋め尽くされた
空間を万華鏡とともに体感する。演奏は平山織絵(Cello)と、
マルコス・フェルナンデス(Percussion)がバックアップ。

出演 Miya 平山織絵 Marcos Fernandes
映像 Chalang
制作 Team Can-On

Miya
二〇〇四年洗足学園音楽大学音
楽学部器楽科ジャズ専攻卒業と
同時にフルート奏者としてプロ
活動を開始。これまでに山下洋
輔をエッセイ、フクロノチー
サーを迎えた「Mya's Book」な
ど三枚のアルバムを発表。二〇
一〇年にはロンドンにて作曲法
を学ぶ、現在はジャズと即興を
両輪に、また作曲家としても活
動様々なジャンルのアर्टタイ
ストと作品を創出している。

Team Can-On(チームカンオン)
二〇一二年、宝玉義彦を中心に複
数アーティストによる相互支援
チームとして、音楽家 Miyaの活
動サポートを主体に設立。参加
するアーティストのライブの企画
製作 広報 相互のネットワーク
を利用した人材交流の活性化な
どを行う。これまでに、Miyaの
歴史をフルートと探求するMiya
のライブ「Story Of Jazz」、空
間を利用し、即興演奏に特化し
たソロライブ「南無観」など、
企画制作、空間演出などを行っ
ている。



二アイトスコップ(風が見えるタイの万
華鏡)をお持ちの方は是非ご持参ください。
・チャラグ特製のテレイドスコップを先
着30名さまにテポジット(補償金100
0円にて貸し出します。お帰りの際にス
コップ返却にて返金。返金なしで持ち帰
りも可。貸し出しは1グループ1名様
に限る場合があります。)

tarinainanika「Coffee & I」

制作：吉本恭子

「わたしはコーヒーを飲む。毎日飲む。かならず飲む。かならず
毎日コーヒーを飲む。もしわたしがコーヒーを飲まなかったら
ら・・・二組の男女が繰り返される毎日の中に、見失った自己を
発見してゆく過程を描き出す。日常的なおブジェクトを用い、
芸術性の高いコポリアルタイムの身体表現に台詞と音楽を組
み合わせ独創的な世界を作り上げる。人間の根源的な葛藤
をコミカルにポエティカルに、ドラマティカルに表現します。

演出 出演 平山賢太郎 タニア・コーク 映像 伊藤克則
制作 吉本恭子 後援 STYLART INC.

tarinainanika(タリナイナカ)
平山賢太郎とタニア・コークが主宰するコポリアルタイムユニット。二人は二〇
一〇年までロンドンに拠点を置く劇団シアターテララジフに所属し、国際コポリ
アルタイム学校において講師を務め、二〇一二年にtarinainanika結成後は、日本
でコポリアルタイムの発展と普及を目標として独自に活動を展開している。
コポリアルタイム(Coporeal Time)は、20世紀フランス演劇界の巨匠エリ
エヌ・ドゥクルー(Etienne Decroux, 1898-1991)によって開発された演劇的な身体
芸術様式。「思考する身体」といったテーマを追求し、人間の身体と行為に焦点を
当て、役者のあり方を新しいアングルから見直したテクニックを構成している。

吉本恭子
東京学芸大学国際理解教育課程卒業後、企業に勤務する傍ら、市民レベルでの異
文化交流、教育の場を継続的に主宰。音楽家やアーティストたちとの交流を通じ、
アートマネジメントに関心を持つ。港区慶応大学アートセンター共催「都会の子
どものための音楽」(2010)、港区文化芸術フェスティバル「こもり」(2011)等
の制作に携わり、二〇一二年一月よりtarinainanikaのマネジメントを担当。



写真:本田史郎

CAFÉ LIVE 2012

会場=BankART Studio NYK 1F / NYKホール
入場料=2,000円(ワンドリンク付き)

ご予約・お問い合わせ BankART1929
予約はメールにてご来場日、氏名、連絡先を明記の上お申し込み下さい。
お電話、FAXでのご予約も受け付けています。
cafelive@bankart1929.com
TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813
BankART1929 公式サイト http://www.bankart1929.com/



アクセス
〒231-0002 横浜市中区海岸通 3-9 BankART Studio NYK
横浜みなとみらい線「馬車道駅」6番出口[赤れんが倉庫口]徒歩5分